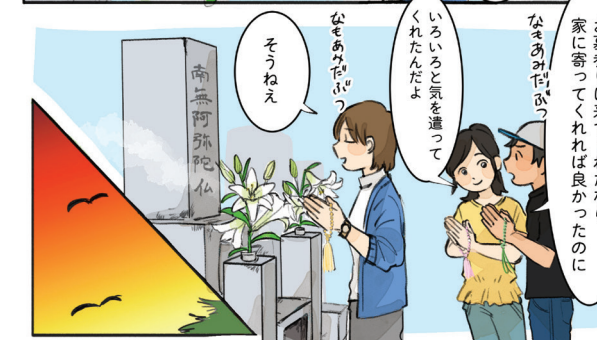
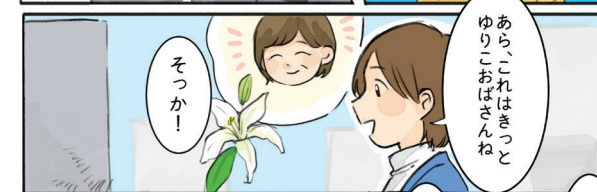
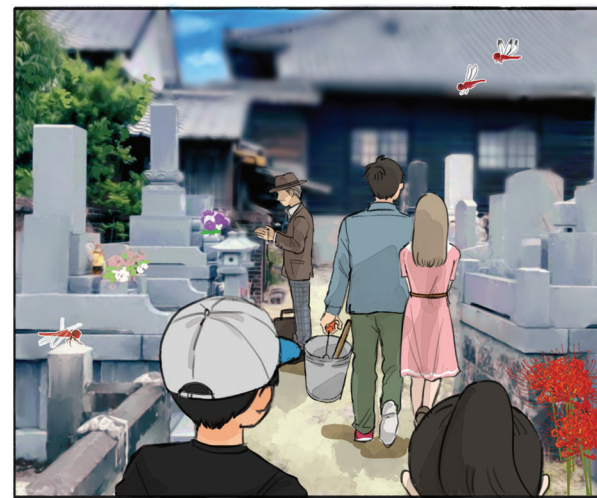


仏事のすすめ お墓参り編

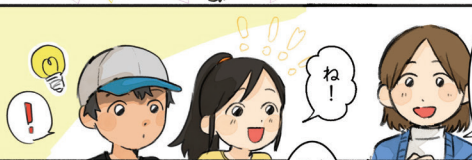
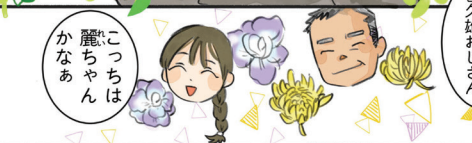
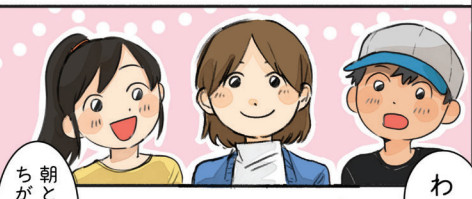
お経には、「青色青光、黄色青光、赤色青光、白色白光」とあります。
 お浄土(悟りの世界)の蓮の花は、それぞれがそれぞれに光り輝いています。
 私たちも、それぞれに、精一杯輝いて生きていきたいものです。



つなぐこぼれは生きる



夕方、お供えを下げて来てみたら...



みんなで一緒に
お参りしようよ

青色玉白光
黄色玉白光
赤色玉白光
白色玉白光

朝とは全然
ちがうね

わあ

この花は
喜久雄おじさん

こっちは
麗ちゃん
かなあ

みんなお参り
してくれたんだね

ね!

ねえ
マキ姉ちゃん

今日はお寺さんが
来られる日だったよね

そうだけど...

せっかくだからみんなもお参りに
お誘いするのはどう?

それはいいね!

あれ

マキ姉ちゃん
誰か先にお参り
してくれてるよ

あら、これはきつと
ゆりこおばさんね

そっか!

いろいろな気を遣って
くれたんだよ

そうねえ

お墓参りに来てくれたなら
家に寄ってくれば良かったのに



ポスターのデータは
ホームページに掲載しています



お墓参り編



昔に比べ、大人はもちろん子どもまでも「忙しい」時代になったように感じます。仕事、勉強、習い事… スケジュールを見ると、ぎっしりと詰まっていることはないですか？

「忙しい」とは「心」を「亡くす」と書きます。

慌ただしい日常の中で、大切なことを見失ってないでしょうか？

そんな時こそ立ち止まり、仏さまに、ご先祖さまに私のこの身をたずねてみませんか？

いただいた命を大切にしているだろうか？

周りの命を大切に生きていくだろうか？

今年もお彼岸の季節がやってまいります。

人生をあゆむ中で、時に立ち止まり我が身をたずねていくことは、生きていくうえで大切なことです。縁ある方がたとともにお彼岸という時間を通し「何を大切にこの人生をあゆんでゆくか」考えてみませんか？

この漫画は、お墓参りのシーンを通して、家族や親戚の思いが届けられており、登場人物がそれぞれに思いを大切に受け取り、その思いとともにお仏壇でお参りする姿を描いています。

『仏説阿彌陀經』に、「青色青光、黄色黄光、白色白光、赤色赤光」とあります。お浄土（悟りの世界）の蓮の花は、青い花は青い光を、黄色い花は黄色い光を、それぞれが光り輝いています。

阿彌陀さまの慈悲の光に照らされながら、平等に光り輝く縁ある方がたの思いもまた、私に届けられているのです。

私たちも、それぞれに精一杯、いのちを輝かせて生きていきたいものです。

